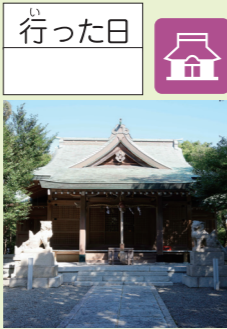


いえしまじんじや 家島神社

『続日本後紀』という古い本には、承和7年(840)に建てられたと書かれていますが、2600年以上前に建てられたという言い伝えもあります。まつられているのは大己貴命、少名彦命、天満天神で、家島の島々や播磨灘の守り神として島の人々から敬われています。

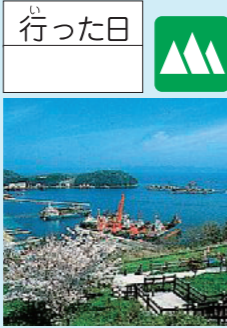


行った日



かんかんちようぼう しみずこうえん 監館眺望(清水公園)

寛永16年(1639)、江戸幕府が安全を見るためにつくった番所(見張所)があったところです。今は清水公園となっていて、すばらしい眺めが楽しめます。

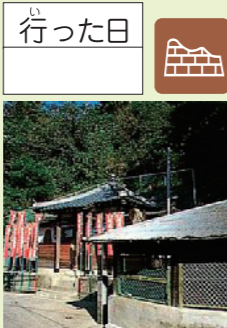


行った日



さくらだにせつけい はふ いど 櫻谷雪景・破風の井戸

櫻谷に降る雪の景色と「破風の井戸」の名前で親しまれているわき水です。法道仙人がこの井戸を発見しました。どんなに雨が降らない日も続いても、水がなくなることがない井戸という言い伝えがあります。昔は、貴重な生活用水として利用されました。



行った日



しろやまこうえん 城山公園

鎌倉・室町時代に、この山の頂上にお城があったので、「城山」とよばれています。その当時は「飯盛山」とよばれていました。苦瓜助五郎本道がお城を築いたと伝えられています。今も岩の跡や古い松が数本あり、家島の海がよく見わたせます。



行った日

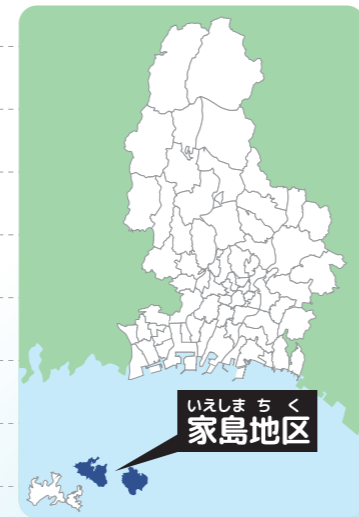


ちようえんじ 長円寺

了源が慶長7年(1602)に建てたと伝えられていますが、くわしい年代は分かっています。今の建物は平成14年(2002)に建てられたものです。真宗大谷派のお寺で、京都にある東本願寺と深い関わりがあります。



行った日



いえしまちく 家島地区



調べたこと、
分かったことを
書いてみよう!



- 遺跡・史跡、歴史上の名所
- 神社・仏閣、歴史的建造物
- 歴史上の人物など
- 祭り
- 美術品
- 伝統芸能など
- 景勝
- 生物・花
- 町並み
- etc その他



0m 500m 1km

いえしまちく 59 家島地区

家島諸島には40近くの島々があり、旧石器時代から人々が生活していたようです。どんな暮らしをしていたのでしょうか。調べてみましょう。



てんまれいじゆ 天満霊樹

家島本島の天神鼻にある、家島神社近くの原生林(自然のままの森林)です。菅原道真が平安京から太宰府に流される途中に立ち寄った場所と伝えられています。



行った日



どんがめっさん

亀の形をした岩で、水的神さまとして地元の人に親しまれています。漁に出た主人が無事に帰ってくるように祈る女性たちが寄付したものです。主人の帰りを待ち続けた亀が石になってしまったという伝説があります。

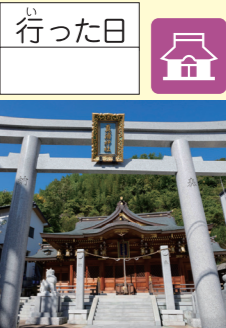


行った日



まうらじんじや 真浦神社

建てられた時期は分かっていますが、建物の形や手法などから、江戸時代に建てられたのではないかと考えられています。真浦では「氏神さん」とよばれています。もとの名前は「荒神社」といいます。まつられているのは、奥津彦神・奥津姫神です。11月2日・3日に秋祭りが行われ、2台の屋台が練り廻ります。



行った日



みやうらじんじや 宮浦神社(白髭霊祠)

宮地区の守り神で、家島神社と深い関わりがあります。神社の記録には、比叡山の実相院にいた覚円僧都が夢の中のお告げによって、琵琶湖にある白髭大明神の分身を移しておまつりしたといわれています。7月24日・25日の天神祭では、この神社の火をともした提灯行列が行われ、家島神社に火を移します。

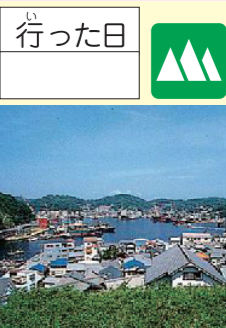


行った日



みやうらやはく 宮浦夜泊

家島本島・宮浦(宮港)の入江に一晚船をとめた時のおもむきのある眺めを表したものです。漢詩では当時の様子を「入江のほとりは小さな山に囲まれ青く澄んだ海はおだやかだ」と詠んでいます。



行った日

